

法人理念

最も弱いものをひとりももれなく守る

社会福祉法人 全国重症心身障害児(者)を守る会の基本原則を理念として掲げ、全職員が一丸となって利用者の安全安心を守りながら、在宅福祉、地域福祉の増進に貢献していきます。

支援方針

全てのこどもたちが“自分っていいじゃん”と思える世の中をつくる

生きにくさや困り感のあるこどもと家族の支援を通して、誰もが自己を肯定し幸せを実感できる世の中を目指します。区立施設として、発達に課題を抱える全てのこどもを受け入れます。利用期間が1年間と限られているため『短い期間でも密度の濃い支援』をめざします。

支援内容

本人支援

「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域を関連づけたプログラムを実施しています。特定の領域に特化することなく、幅広いプログラムを行うことで、ひとりひとりのニーズに添えていきます。

健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくりだす

宿題・個別学習
食育としての調理
時間に応じた行動の切り替え
トイレトレーニング
避難訓練



体の使い方を学びながら、様々な感覚を活用する

縄跳び・大縄跳び
トランポリン
ストラックアウト
ボウリング
テーブルホッケー
リズム遊び
フルーツバスケット

ワカワカ

他者との関係のつくりかた、ヘルプの出し方、集団への参加の仕方を学ぶ

ボードゲーム
カードゲーム
お店屋さん
こんな時どうする

人間関係
社会性

健康
生活

運動
感覚

言語
コミュニケーション

認知
行動

言葉や文字、記号、ジェスチャーなど様々な方法を活用して意思を伝える

ことば遊び
物語クイズ
一日の振り返りの発表

数の大きさ、色など様々な概念を理解し、適切な行動を取得する

粘土工作
アイロンビーズ
ブロック工作
段ボール工作



家族支援

面談を通してご家族の不安や悩みをお聞きし、特性を理解した対応について提案していきます。ご家族が対応方法に見通しがもてることをめざします。

移行支援

利用期間終了後も引き続き支援が必要かどうか、本人やご家族の希望をうかがいながら検討します。移行先との情報共有を行い、切れ目のない支援をめざします。

地域支援・地域連携

最低でも1回以上、学校訪問を実施します。利用期間終了後の学校生活を視野に入れ、学校訪問の際に情報交換します。集団生活において、児童自身はどう対処すればよいのか、学校はどう配慮すればよいのか、という視点で提案していきます。学校での過ごし方について、共有できることをめざします。またさぼーとぴあ相談支援事業所をご利用いただいている場合は、担当の相談支援専門員と情報共有し、利用期間終了後の移行先について希望をうかがいながら支援します。

利用案内

対象

知的	発達	身体	肢体	重心
	○※			

※サポートルームに在籍している学齢期の児童、もしくはそれに準じる児童

送迎

範囲を限定しています。希望される方はご相談ください。



ご利用までの流れ

大田区立の放課後等デイサービスです。ご利用には、さぼーとぴあが実施している【学齢期の発達障がい支援事業】へのお申し込みが必要です。事業所への直接の申し込みはできません。

相談申し込み

見学(平日の午後)

発達障がい支援事業の利用申し込み

さぼーとぴあ診療所での診察

通所受給者証の取得手続き

契約・要望聞き取り

利用開始



利用できる時間

学期中の平日：午後1時30分～午後6時
長期休み中の平日：午前10時～午後4時
休業日：土曜日・日曜日・祝日

定員

各曜日10名

利用回数

最大週3日

利用期間

開始月から1年間
(4月中旬に利用開始した場合は、翌年の4月まで)

1年間の流れ

0か月 (利用開始)
個別支援計画書作成・説明

(学校訪問)
学校教員との情報交換

6か月 (中間評価)
モニタリング報告書作成・説明
個別支援計画書修正

(進路相談)
事業所間連携など

12か月 (最終評価 利用終了)
モニタリング報告書作成・説明

※年2回(保護者会)
活動紹介・進路説明・意見交換

主な行事

毎年11/3(文化の日)は、
新井宿地区 福祉と文化と医療のまちのスペシャルデー
に参加して「あそびの広場」を開催しています。

1日のスケジュール

13:30～15:00 プリント学習・宿題・個別
15:00～17:00 集団プログラム
17:30 帰りの会
17:45～18:00 お迎え・復路送迎車出発

職員の質の向上に資する取り組み

◎東京都障害者虐待防止・権利擁護研修に毎年参加しています。
参加した職員による伝達講習を全職員が受講しています。
日々の支援場面で起こりそうな事例を取り上げ、事例検討しています。
◎家族支援に活かすため、ペアレント・トレーニングファシリテーター養成研修を受講しています。

